

東 海



1. 主要経済指標の対全国シェアの推移

(単位：%)

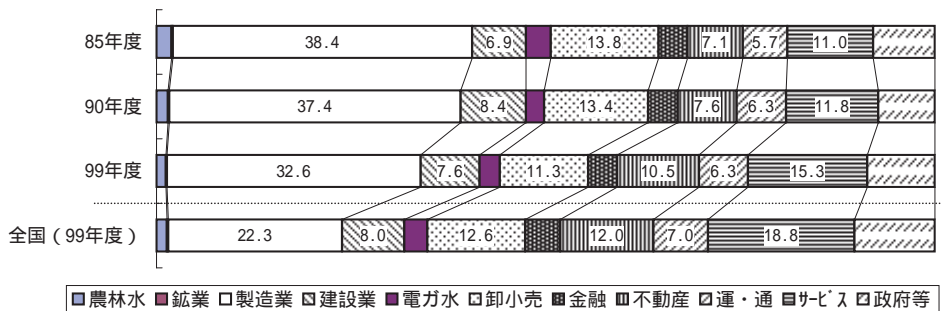
	75年	85年	95年	直近年	
人口(3月末)	11.4	11.4	11.6	11.6 (2002年)	1,470 万人(0.21)
域内総生産(年度)	12.0	12.4	12.3	12.4 (99年度)	61 兆円(0.9)
製造品出荷額等	16.8	19.1	20.3	*3 22.1 (2001年)	63 兆円(1.4)
卸売販売額	*1 12.1	12.0	*2 12.6	11.8 (99年)	58 兆円(11.6)
小売販売額	*1 11.4	11.6	*2 11.9	11.9 (99年)	17 兆円(2.2)

注1 *1:74年、*2:94年、*3:2001年速報値。

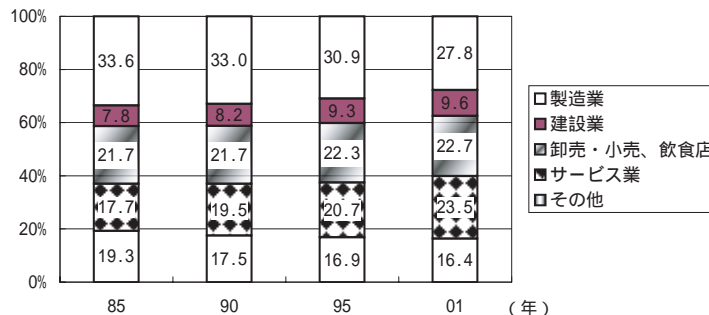
注2 ()は前年比増減率を表す。ただし、卸売、小売販売額は97年調査比増減率。

2. 産業・就業構造

(1) 域内総生産に占める産業別構成比の推移



(2) 就業構造の変遷 (業種別構成比の推移)



(3) 東海地域の特徴

域内人口は1,470万人（2002年）で、対前年比0.21%増加した（65歳以上人口の比率は17.4%）。域内総生産は61兆円（99年度）で対前年度比0.9%減少し、製造品出荷額等は63兆円（2001年速報）で対前年比1.4%減少した。主な指標の対全国シェアの推移をみると、域内人口、製造品出荷額等、小売販売額のシェアが85年との比較において上昇し、卸売販売額はやや低下し、域内総生産は同水準となっている。

域内総生産に占める産業別構成比をみると、99年度においては、全国に比べて製造業の割合が高く、建設業、卸小売業、不動産業、運輸・通信業、サービス業の割合が低い。85年度からの構成比の推移をみると、不動産業、サービス業は上昇したが、製造業、卸小売業は低下した。建設業は90年度に構成比が上昇したが、99年度に低下した。運輸・通信業は90年度に構成比が上昇し、99年度は同水準となっている。

就業者の産業別構成比の推移をみると、製造業が低下しているものの、建設業、卸売・小売、飲食店、サービス業は上昇している。

3. 2001年度から2002年央までの経済動向

2001年度前半においては、自動車や一般機械を中心に鉱工業生産が減少傾向にあったことや個人消費の弱含みなどから、東海地域の景気は悪化した。同年後半にかけてもこの傾向が続き、加えて雇用情勢が厳しさを増したことから、景気は一段と悪化した。2002年に入り、個人消費は横ばいとなっているものの、アメリカ向け輸出の好調さに支えられた自動車を中心に鉱工業生産が増加に転じ、雇用情勢でも有効求人倍率が上昇するなど、年央には景気に持ち直しの動きがみられる。

生産活動：2001年中は、鉱工業生産は減少傾向が続いた。ウェイトの大きい輸送機械が自動車輸出の弱含みなどから横ばいで推移した後、10-12月期に大きく減少した。一般機械も、金属工作機械が内外需とも減少したことなどから減少が続いた。電気機械は半導体集積回路、電子計算機・同関連装置の減少などから7-9月期には減少したものの、おおむね横ばいであった。2002年に入り、アメリカ向け自動車輸出が好調で、小型新型車の投入効果もあり、輸送機械の増加が続いた。一般機械も、繊維機械の中国向け輸出の動き等から増加に転じ、鉱工業生産は増加傾向となっている。

個人消費：大型小売店販売額をみると、百貨店では2000年3月に開店した大型店の影響が一巡し、2001年度前半には既存店ベースの販売額が前年を上回ったものの、同年度後半には、暖冬による冬物衣料の不振などから減少に転じた。2002年度に入っても、天候不順により夏物衣料が低調で、販売額は対前年比横ばいとなっている。スーパー売上高は、消費者の低価格志向により衣料品、飲食料品が引き続き低調で、依然として前年を下回る動きが続いている。コンビニエンス・ストアでも、消費者の低価格志向が続き、売上高は基調として前年を下回っている。乗用車新

規登録・届出台数は2001年後半に減少したものの、2002年に入ってから、小型車や軽自動車が寄与して増加傾向にある。

建設活動：公共工事請負金額は、基調として前年を下回ったが、2001年10－12月期、2002年4－6月期には前年を上回った。新設住宅着工戸数は、2001年度当初と2002年1月を除き対前年比減少が続いた。

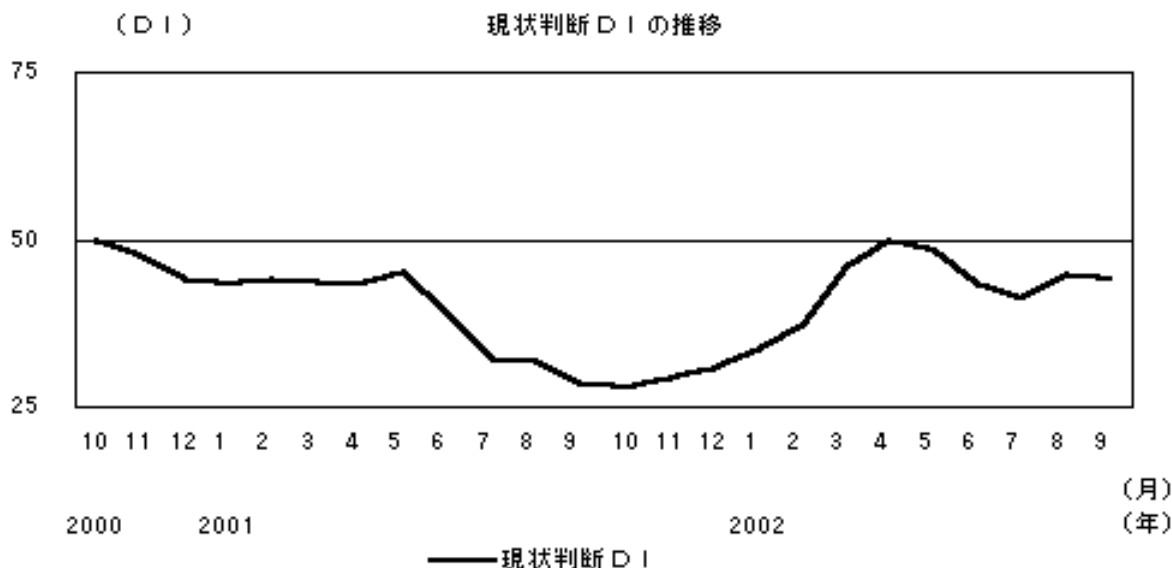
設備投資：2001年度は、製造業が前年を上回ったものの、非製造業が前年を下回ったことから、全産業では前年を下回った。2002年度計画は、製造業はほぼ前年度並みであるものの、非製造業が前年を下回ることから、全産業では前年を下回っている。

雇用情勢：2002年1月までは、有効求人倍率が緩やかに低下し続けるなど、厳しい状況にあったが、2002年2月以降、有効求人倍率は上昇に転じ、厳しい状況の中で持ち直しの動きもみられる。

企業倒産：企業倒産件数は、2001年度当初から増加が続いていたが、2002年4－6月期には減少した。2002年7月には地元大手建設会社が倒産した。

4. 「景気ウォッチャー調査」にみる東海地域の景況

・現状判断DIは、2001年1月からおおむね横ばいで推移してきたが、同年6月以降は低下し、10月には27.9と調査開始以来最低水準となった。その後上昇を続け、2002年4月には49.8となったものの、5月以降は緩やかに低下している。



5. 東海地域の主要経済指標

(単位：%)

	鉱工業生産指数 〔季節調整済、 前期(月)比〕	大型小売店販売額 〔店舗調整済、 前年同期(月)比〕			乗用車新規登録・ 届出台数 〔前年同期 (月)比〕	公共工事 請負金額 〔前年同期 (月)比〕	新設住宅 着工戸数 〔前年同期 (月)比〕	有効求人倍率 〔季節調整済〕	企業倒産 件数 〔前年同期 (月)比〕
		合計	百貨店	スーパー					
1999年	1.5	4.7	3.0	5.8	2.3	8.2	4.7	0.61	11.4
2000年	8.5	6.4	5.8	6.8	5.4	4.9	0.1	0.77	16.3
2001年	4.5	4.5	1.0	6.6	0.4	7.0	6.3	0.80	4.7
2001年 4～6月	2.5	3.8	0.8	6.5	2.0	5.9	2.8	0.85	13.4
7～9月	2.8	4.3	0.1	6.9	2.4	5.0	7.8	0.79	4.3
10～12月	2.5	4.2	0.3	6.7	6.1	6.4	7.7	0.71	9.3
2002年 1～3月	2.1	3.7	0.4	5.6	1.5	21.5	6.8	0.69	11.9
4～6月	2.1	1.3	0.0	2.0	6.5	2.5	5.8	0.72	8.1
2001年 4月	0.2	4.5	0.4	7.0	0.1	53.7	0.8	0.87	0.6
5月	2.2	2.4	1.7	4.8	3.5	47.4	5.1	0.85	35.3
6月	0.1	4.5	1.0	7.5	2.4	11.7	13.7	0.83	9.0
7月	1.9	4.3	1.8	6.1	7.8	0.2	8.5	0.82	0.7
8月	0.7	5.3	1.2	7.1	6.7	0.8	8.4	0.78	17.9
9月	2.1	3.3	4.1	7.5	5.5	12.3	6.4	0.77	3.9
10月	0.0	6.2	2.1	8.7	12.6	15.7	13.1	0.74	19.0
11月	2.1	2.4	3.1	5.8	4.9	4.5	0.2	0.71	5.0
12月	0.1	4.0	1.5	5.9	0.9	4.5	9.8	0.68	2.8
2002年 1月	5.0	2.4	0.2	3.5	3.3	0.4	2.5	0.67	12.4
2月	1.8	6.5	2.7	8.4	3.3	10.8	3.7	0.68	13.0
3月	2.7	2.6	1.3	5.3	0.7	30.5	17.2	0.71	10.4
4月	1.5	0.7	0.1	1.0	7.5	7.4	5.0	0.72	4.8
5月	7.2	2.1	0.4	3.5	10.3	5.1	8.2	0.72	15.2
6月	4.7	1.0	0.3	1.4	3.0	17.8	3.8	0.73	3.2

(備考) 1. 主要経済指標の対全国シェアの推移は、以下により作成。

- ・人口：総務省「住民基本台帳人口要覧」
- ・域内総生産：内閣府経済社会総合研究所「県民経済計算年報」
- ・製造品出荷額等：経済産業省「工業統計表」
- ・卸売販売額、小売販売額：経済産業省「商業統計表」

2. 経済・産業構造

- ・総生産に占める産業別構成比：内閣府経済社会総合研究所「県民経済計算年報」により作成。
- ・就業構造の変遷：総務省統計局「労働力調査報告」により作成。

3. 主要経済指標

- ・鉱工業生産：各経済産業局調べ。
- ・大型小売店販売額：各経済産業局調べ。
- ・乗用車新規登録・届出台数：日本自動車販売連合会「自動車登録統計情報」、
全国軽自動車協会連合会「軽自動車新車日報累計表」により作成。
- ・公共工事請負金額：保証事業会社協会「公共工事前払金保証統計」により作成。前年比
の数字は年度比較。
- ・新設住宅着工戸数：国土交通省「建築着工統計」により作成。前年比の数字は年度比較。
- ・有効求人倍率：厚生労働省「一般職業紹介状況」により作成。
ただし、北海道、沖縄を除き内閣府で季節調整を行った。
- ・企業倒産件数(株)東京商工リサーチ調べ。